

槇尾中学校区では、特認制度を取り入れた、 施設一体型義務教育学校の設置に向け、 地域連携・小中一貫教育を推進していきます！



和泉市教育委員会

和泉市では、平成29年4月から全ての学校で
小中一貫教育を実施しています。

また、同年4月には、南松尾はつが野校区に
施設一体型の義務教育学校（小中一貫校）が
開校しました。



※施設一体型とは？

小学校と中学校を、同敷地内の1つの
施設内に設置した形態の学校です。
異学年交流や、小中教員による細やかな
子どもへの支援等の取組みが充実させや
すい教育環境となります。

※義務教育学校とは？

平成28年度から施行された新しい校種で、
義務教育9年間を通して、より系統的な
教育課程を編成して学校運営を行います。

※特認制度とは？

特認制度を導入した学校へは、市内どの
地域からでも通うことができます。



南松尾はつが野学園では、施設一体型義務教育学校の良さを
活かし9年間の柔軟かつ系統的な教育を展開しています。

例：中学校教員による前期課程への教科指導
小学校教員の後期課程（7～9年生）への関わり
5年生からの部活動参加 など

前期課程？後期課程？

→ 義務教育学校では、小学校1～6年生のことを「前期課程」、
中学校1～3年生のことを「後期課程」と呼んでいます。

槇尾中学校区では、

平成30年1月から地域、学校関係者の方々と具体的な検討・議論がスタートし、
平成31年3月の第3回和泉市適正就学対策審議会にて、槇尾中学校区の3校を統合して
特認制度を取り入れた施設一体型義務教育学校を新設する旨の答申がなされました。

今後、開校までの間、槇尾中学校、横山小学校、南横山小学校では、これまで以上に
小中一貫教育を推進し、合同の教育活動・行事等を充実させ、円滑な移行に向けて取り組ん
でまいります。

地域、保護者のみなさんにおかれましては、一層の学校教育へのご支援とご協力を
よろしくお願いいたします！

新しい学校になると、どんな教育内容が実践され、 どんな効果が期待されるの？

特認制度の導入

- ・市内から入学を希望する児童生徒が通い、より多くの「出会い」が生まれます。

少人数指導など、効果的な学習環境

- ・1学年2クラスのクラス替えが可能な環境、児童生徒が切磋琢磨できる環境。
- ・教科や学習活動に合わせ、少人数でのきめ細かな授業。

異学年交流の充実

- ・施設一体型の利点を活かした、多様な異学年交流。

前期課程での専科指導

- ・後期課程の教員による前期課程での授業。

前期課程からの部活動参加

- ・運動・文化にふれる機会や学校生活の充実。

小中教員による9年間の育み

- ・前期、後期の教員による9年間の系統的な学習や細やかな学校生活・生徒指導。



上級生による低学年への
読み聞かせ



前期課程から部活動へ参加



地域特性を活かした教育内容や 児童・生徒が集まる魅力づくり

自然環境を活かした学習

- ・槇尾山や父鬼川、地域の田畑など自然を活かした学習活動。

関西トランスウェイスportsスタジアムなどの 地域資源を活用した教育

- ・南部リージョンセンターや地域の産業とも連携した多様な教育。

南横山小学校の敷地を活用した学習活動

- ・学校林や父鬼川での教科学習や総合的な学習、特別活動など。

少人数指導による細やかな指導

- ・教科や学習活動に合わせ、少人数でのきめ細かな授業。

魅力ある部活動

- ・他校にはない部活動による魅力づくり。

放課後学習環境の充実

- ・学習塾などの参画など、多様な放課後の過ごし方が可能に。



地域の保育園との稲刈り体験



父鬼川での野外活動



関西トランスウェイ
Sportsスタジアム



南横山小学校の学校林



いずみ希望塾

開校の時期、場所は？

- 槇尾中学校の敷地を活用し、新校舎建設のうえ、開校予定です。
- 敷地の拡大に関する調整や建設内容の詳細を整理する必要があるため、現時点で開校時期は未定です。
(少なくとも5年程度は必要と考えています。)
- 校舎の建設時には、同一敷地内で中学生が学びながらの計画です。
しっかりと安全対策、騒音対策に努めるとともに、体育館等の
先行整備による、先行利用など在学生への配慮に努めます。

※基本構想、基本設計の内容によっては、**一時移転が必要となる可能性**もあります。



南松尾はつが野学園の設備
写真上：ランチルーム
写真下：学校図書館



南松尾はつが野学園 プール

通学はどうなるの？

- 南横山地域の全域及び横山地域の一部（距離等踏まえ、今後調整）は、何らかの形で無料のバスにて通学が可能となるように調整予定です。
地域の路線バスを含めた総合調整を行う予定ですので、開校に向けて検討を進めていきます。
- 特認バスについては、小学生、中学生が利用可能な運用に努めます。
詳細は、開校に向けて調整していきます。
- 徒歩通学等についても、安全な通学が確保できるよう、道路照明対策など可能な限り対応を検討していきます。

横山小学校、南横山小学校はどうなるの？

○横山小学校について

- ・現在の校舎等は基本除却の方向で検討します。
- ・除却後の敷地については、民間活力の検討や地域広場、宅地等、民間活用の可能性調査を行ったうえで整理予定です。
- ・避難所は、新校での機能確保を基本とします。

○南横山小学校について

- ・南横山小学校の敷地を自然環境教育の場として活用できるように調整します。
- ・地域コミュニティの活性化に配慮し、地域利用が可能な手法を検討します。
- ・民間活力の検討も行い、可能性調査などを実施します。

今後の予定

- ① (仮称) 学校開校準備委員会(以下、準備委員会)を通じて、学校名(案)を検討。
 - ② 学校名、設置について議会の議決を求めます。これにより、正式決定となる予定です。
 - ③ 準備委員会にて、開校までに決定すべき内容について順次、検討を進めます。
- 準備委員会での協議の様子や進捗状況等は、ニュースレターを通じて、皆さんにお知らせしていきます。



「(仮称) 学校開校準備委員会」イメージ

構 成：学校教職員、在校生・就学前児童の保護者、町会など地域関係者、教育委員会事務局

検討事項：学校名、制服、校章、学校設備、教育内容、校歌、PTA 関係、特認内容など

※検討する内容に応じて、保護者、地域の方々に参画していただきます。

※教育内容については、準備委員会での検討と並行して、3校間で先行実施するなど開校に向けて小中一貫教育の更なる充実を図ります。

? その他の疑問



例えば・・・

○学校名は？

- ・準備委員会にて、検討します。
- 最終は、議会での承認にて決定されます。

○制服は？

- ・準備委員会にて、導入について検討します。
- ・いくつかの候補について展示会を開き、アンケートを行う手法なども検討されます。



南松尾はつが野学園 制服
上：前期課程 右：後期課程

○留守家庭児童会(なかよし)は？

- ・南横山地域の方、特認の方も利用可能とする予定です。

その他、様々な決め事については、準備委員会にて検討し、情報発信に努めます。

当日の主な質疑 参加者 45 名(横山 20 名、南横山 11 名、特認 5 名、その他・不明 9 名)

● 特認制度とはどういう制度？	○ 通常は、地域により通う学校は決められていますが、和泉市内全域から子どもが通うことができる制度が特認制度です。
● 統合は理解しないといけないが、少子化が更に進むので、10 年、20 年先のビジョン見込んでいるのか？ 建設した校舎無駄にならないか？	○ 人口ビジョンは大切であり、また、少子高齢化などの問題も踏まえ検討しています。
● 小規模特認にしてもらえるのか？ 30 人なら他の校区でもあるので、20 人にして欲しい。	○ 20 人から 30 人であれば小規模と捉えています。詳細の人数は、今後検討していきます。
● 反抗期よくなったのは、わかる。8 年生、9 年生に違和感がある。交流などで学習内容が変更されないのか。中3の受験心配。	○ 1 つの敷地内に1年から9年生がいることにより、掃除を一緒に行うなど、交流を深めることができます。授業については、学習指導要領に則っており、現在の小学校、中学校の内容と差があるものではありません。
● 先生の負担を聞くので、先生の人員確保をしっかりして欲しい。	○ 人員確保には努めていきたい。
● 小学校の定期考査について、小学校は内面性の時期なので、負担感心配。	○ 中学校段階の試験のやり方に慣れるということはあると考えており、小学生の負担にならないようにも取り組んでいます。
● 南横山の活用には感謝。ささゆりが普通の学校になったので心配はある。	○ 南横山小学校でしかできない教育を特色ある教育環境と捉えており、今後も維持・継続していきたいと考えています。
● 校舎の教室配置において、小5、小6、中1が並ぶのは、リセットという意味では心配。	○ 教室配置については、様々なバリエーションが考えられ、今後、学校建設をする際には検討していきたい。
● 南松尾はつが野学園の一部の生の声(現状の苦情)として、授業中や放課後も中学校を重要視し、小学校低学年に「静かにしましょう」とい声かけが多い。 小学校は楽しむこと、中学校は勉強すること、色々存在すると思うので、今後検討していった欲しい。	○ 授業開始・終了のチャイムを工夫するなど取り組んでいます。 同じ敷地内で1年生から9年生までがお互いに学びあう環境は大事。教員は、異学年にどんな声かけを行うかを学んでいく必要があります。より良い教育環境になるよう努めていきたい。

● 小中一貫校となることはとても賛成で、早く作って欲しいと思いました。ただ、人数を確保するために合併するのではなく、地域に新たな人が寄ってきてくれる魅力的な教育内容にして欲しいです。(IT 教育に特に力を入れる等、特性を打ち出してアピール力を上げる) ● 教育は保護者にとって高い関心があると思います。横山学校区から巣立っても社会で通用する高い教育と生きる力を身に付けていくような教育を小中一貫校で行ってほしいと思っています。今の「きのみ保育園」や小学校などで行われているような横山の自然や文化と触れ、あたたかみのアットホームである丁寧な教育を大切にして、卒業した子どもたちが横山に愛着を持ち、自分の子どもにも同じ教育を受けさせたいから地域に戻りたいと思い、横山が活性化する、人が戻ってくる伝統校をお作りいただきたいと思います。 ● 何故小中一貫校が良いと判断した経緯がよくわからない。現状、教育環境にどのような課題があり、その対策を検討する中で小中一貫校のメリットを説明願いたい。小中一貫校のデメリットをもっと説明してほしい。和泉市の運営上の課題を説明頂けると納得性も高まると思います。 ● 教員の負担が大きいと聞きますが、その辺の対応はどうなっているのでしょうか。(開校までに対応できるのでしょうか)小中一貫教育を始めただけで次々と推進していった方がいいのでしょうか。南松尾はつが野学園の検証をもう少	○ 子どもたちのより良い教育環境を第一に考えております。施設一体型の利点と槇尾中学校区の良さを生かした教育内容を検討していきます。 ○ 地域とともにある学校として、豊かな自然や地域の文化は、大切にしたいと考えています。また、これから求められる力をしっかりと育むべく、教育環境・教育内容を検討していきます。 ○ 和泉市では、義務教育終了時の子どもの学力に責任を持って取組むべく、平成29年4月より、全中学校区で小中一貫教育を実施しています。異学年との交流が増えることにより、多様な学びを子どもたちが経験できることがメリットです。施設一体型では、その効果がより高めやすく、槇尾中学校区においても検討を始めたところです。南松尾はつが野学園では、今のところ大きな課題はありませんが、PTA 活動をはじめ、試行錯誤の部分はある、移行に伴う戸惑いはいくらかあると考えますが、学校との協力と時間が改善につながると認識しています。 ○ 特に開校時は、教育環境の整備等で他校に比べ業務が多くなることはあります。南松尾はつが野学園の場合には、統廃合に係る加配教員の措置がなされました。開校までに一定の期間がありますので、その間においても対応を研究してい
---	---

し見てからのスタートでもいいのではないかと感じました。 ● 将来のビジョンを持っていない事を理解しました。決定ありきでの説明会はやめていただきたい。 ● 少人数、小規模校の良さ、重要性もわかって欲しい。人数を集め、クラス替えがあるだけで切磋琢磨される訳ではないと思う。現在も3校が交流する機会もあり、施設一体型小中一貫校にする必要も感じない。今までの説明では特認生の入学が予定どおり確保できるとは思えません。旧南松尾小の保護者の中ですでに「元に戻して欲しい」という声があるのをご存知ですか。 ● 6年生は、現状では最高学年として自覚とメリハリをもって学校生活を送っていると思うのですが、9年間一貫となると「中間にいる期間」が長くなるので、小中一貫に関して不安があります。小6の卒業含め一連の流れは、子どもの成長にとっても大切なことなのではないかなと思います。9年間でダラダラとすごく感覚にならないことを願います。 【小中一貫校の意思決定について】 ● 基本的なことは理解できましたが、この先の決定案が何なのか、必要なのがわかりにくい。小中一貫校とする意思決定をする前に、きちんと決定しておかなければならない課題が多くあると思います。返答をあいまいにせず、きちんとした答えを出していただきたいです。 【移住効果について】 ● 小中一貫校として始まっている南松尾はつが野学園は、和泉市へ移住している人が増えていると認識しています。槇尾の小中一貫校も同様の効果を見込める様、居住についても検討いただきたい。	ます。 ○ 小中一貫校は、有効な手段と認識していますが、まだ、決定ではありません。関係のみなさまのご意見も踏まえ、疑問に感じるなどについては丁寧な説明に努めます。 ○ 槇尾中学校区だけでなく、少人数・小規模校では、その「良さ」を生かした教育が行われています。また、デメリットを少なくする工夫も行われています。現状のままということも選択肢の一つですが、今後を考えると、施設一体型とすることで、多様性に富んだ集団を形成することが可能となり、より充実した教育環境となると考えています。 ○ 9年間の学校生活、また、子どもの発達段階を考え、「節目」は大切と認識しています。4年生での1／2成人式や6年生での前期課程修了式など節目の行事や前期課程での「たてわり活動」など、その発達段階に応じた取組みを工夫しています。 ○ 皆さんの疑問に感じることや今後の手続き等への回答や説明については、引き続き地域への説明会等の開催や丁寧な情報提供をさせていただきます。 ○ 地域のまちづくりについても、庁内の関係各課と連携して取り組んでいきます。
---	---

【跡地利用について】 ● 跡地利用ですが、学校関連施設にしてください、市費で塾をやっていくなど。 ● 南横山小学校の跡地利用として、災害時避難所として利用とあったが可能なのか。小中一貫校における留守家庭児童会の内容はどうなのか。槇尾中学校区における売りである自然環境として列記されていた槇尾山、笑働の森は全て府主導だが、市としての独自策はあるのか。 ● 南横山のような自然環境で過ごす時間は、大切だと考えています。できるだけ活用していただきたいです。 【教育内容について】 ● 学校生活で問題を抱え、登校しにくくなった子どもが学べる場も確保してください。クラスの人数は少ない方がよく、20人以上にならないようにして、クラス数を増やしてください。20人以上になるようなら「スクールサポーター」を2人以上1クラスに付くようにしてください。 ● 全てを南松尾はつが野学園に倣って同じようにするのはなく、横山、南横山の自然を活かせる施設づくり、授業内容を考えてほしい。人数の変化にも対応できる校舎づくりをお願いしたい。先生や市ではなく、通う生徒への負担やデメリットが少しでも少なくなるよう、あらかじめいろんな事を確認しておいてほしい。	○ 南横山小学校については、周囲の自然環境を生かした教育機能をもった施設として、有効活用していくことを検討したいと考えています。 ○ 南横山小学校の避難所としての指定は難しい状況ですが、災害時にの拠点としてなどの活用を検討したいと考えています。 小中一貫校を新設した場合、市内各校同内容の留守家庭児童会の設置を小中一貫校に設置します。 教育課程については、学校で編成することとなりますが、市教委として学校が特色ある教育活動（関西トランスウェイスタジアムや南部リージョンセンターの活用等）が実施できるよう支援します。 ○ 南横山小学校については、周囲の自然環境を生かした教育機能をもった施設として、有効活用していくことを検討したいと考えています。 ○ 登校に配慮が必要な児童生徒に対しては、課題解決に向け、各校において担当教員を中心に様々な支援人材を活用しながら取り組んでいるところです。1学級における児童生徒数は、少人数指導の良さも生かせるよう就学定員を検討します。また、支援人材についても、必要に応じ活用を検討します。 ○ 教育課程については、学校で編成することとなります。市教委としては、一律ではなく地域の実情も勘案しつつ、自然環境や地域の文化を踏まえた特色ある教育活動が実施できるよう支援してまいります。また、施設や設備、通学方法など、より安全で効果的な教育が展開できるよう検討します。
--	--

● 定められたカリキュラムをこなしながら、プラスαの活動を行うとすると、先生の力量や人数が大切になってくると思います。今の南横山があるのは、少人数 20 名定数であること、先生方の力量が大きいと思っています。ぜひ考慮していただけたらと思います。 ● 説明内容は理解できました。長期ビジョンがややふやかなあと。保護者としては、先生の負担はそのまま教育内容につながる要素となると思います。この一貫校が実現するのであれば、その際に現場を支える方々すべての負担が軽減されることを希望しています。ただ、自治体の発展の為であるなら、公費は公教育こそ費やされるのが望ましいと考えます。 【給食について】 ● 南松尾はつが野学園のランチタイムについて、それはそれで良いかもしれませんが、アレルギー対応の事はどうなっていますか。学校のコストや教育の事の説明ばかりで、アレルギーの事はどうしたらいいですか。今はたくさんの物が食べれなく給食がほぼ無理な状態で、お兄ちゃん、お姉ちゃん達だけがそばにいて食べるという事はとても不安です。そういう先生もいてもいいんじゃないかと思います。細かい事を言いますが、牛乳をこぼしたりしてもただ拭くだけではダメなんです。そういう命に関わる事もっと目を向けて欲しいです。 【通学バスについて】 ● 留守家庭児童会に入ったとき、別にバスは出ますか。 ● 中学校の特認バスを期間前倒ししてほしい。 【特認制度について】 ● 特認を活用するについて、具体的な形が見えない。何の魅力を押していくのか。小中一貫校となるまでの南横山の特認児童の確保。小中一貫校となつてからの特認児童生	○ 教員の配置に際しては、当該教員の専門性や配置校の教育環境などを踏まえて行います。 ○ 将来の子どもたちのために小中一貫校を検討しています。教員の負担軽減、業務の効率化に取組み、教育の質を向上させていくために研究を継続していきます。 ○ 全ての学校において、児童生徒の命と安全を守るということは、何よりも優先し取り組んでいます。小中一貫校となつても、食の安全、アレルギー対応についても万全を期し取り組むもので、上級生に任せるものではありません。基本となるのは保護者と学校、また、学校内での確実な情報の共有です。各校において、個に応じた、食に対する指導を行うことができるよう、支援します。 ○ バスの詳細は現時点で未定ですが、南松尾はつが野学園でも配慮しています。 ○ 要望として伺っております。 ○ 「地域とともにある学校」に基づき、槇尾中学校区の特色を生かした教育活動を展開することをアピールしていきます。 自然環境、少人数学級、複数学級が新校のベ
--	---

徒の確保。それぞれの学校で特色が違ったりする事もあるので、現状での特認の売り、新校での売り、共通する売りをきちんと検討していくべき。 ● 特認制度＝20人×6学年＝120人。小中一貫特認＝30人×2クラス×9学年＝540人。先生の大人の目が増えると言われたが、1人の先生がすべての生徒の名前や顔を覚えられる人数ではない点が気になりました。 ● 特認に対するビジョンが不明なのがとても残念です。本来は青葉はつが野小学校区に住んでいます。子どもは地域の中で育つことがあるべき姿ですが、千人を超える大規模校よりも、子どもが伸び伸びと子ども時代を楽しく過ごせることを願い、南横山小へ入学させました。学校生活には満足していますが、先生方のご尽力のおかげと考えています。ぜひ、現場の先生の声聞いていただきたいと思います。また、特認は、様々な個々の理由で学校を選んで来ている。様々な価値観のある人の集まりであり、地元の方々と少し違う面があります。中でも人数の割にハンディのある子どもが多いと感じています。それは悪いとは言いません。でもこういう現実があることは教育委員会の方は十分わかっていることだと思います。特認校であるということは、こういうアンバランスを整える必要が絶対にあります。様々な価値観のある人の集まりという意味で、みんな、多くは自分にとって良いかどうかで物事を考えると思います。だから、現場のことをよく知り、汗をかいてくださっている現場の先生の声を大切にしてください。 ● 特認を途中でやめることが出来る様になるのか。特認を含めた定員を41人としてもらえるのか。	ースとして想定されます。現にある自然環境、少人数学級の継承とともに総合スポーツセンターの活用をはじめ独自の教育課程などを検討しているところです。 ○ 児童・生徒数が増えることにより、関わる教員の数は増えます。多様な教師の目が増えるとともに、更に、PTA や地域の方などのスケールも大きくなります。そういった面からも、見取り・見守りの充実は図られます。 ○ 市として、教職員の意見を踏まえ取り組むことは大切だと考えています。また、様々な価値観のある方々が特認制度を利用し、通学されていることも認識しています。地域・保護者・教職員が、「子どもの教育」を核として、みんなでつくる学校をめざすことが必要と考えています。 ○ 就学定員、特認制度の詳細については今後も検討していきます。
---	--

当日の主な質疑 参加者 50 名(横山 23 名、南横山 17 名、その他・不明 10 名)

【横山校区】 ● 将来的に特認制度のある小中一貫校としない と、1学年2クラスが維持できない状況で、地域 として人口減少の傾向が著しくなっている。 現状では、横山・南横山地域は市街化調 整区域であるため、移住するにも移住できる環 境にない。地域の子も達が生活利便性の高 い地域へ転出している現状である。こうした現 状を踏まえ、魅力ある学校づくりが必要であ る。 ● 和泉市全体として人口が増加しているにも関 わらず、減少している地域があるということ考 えていただきたい。 【横山校区】 ● 自分達の同級生が、はつが野等の和泉市内に 転出しており、全体的に人口が減少している。 こうした状況なので、当然子どもの数も減少し ていくが、それを踏まえて特認校の小中一貫校 を提案していただいていると認識しており、せ っかく特認校という位置づけで取り組んでいただ けるのであれば、できれば和泉市の人達が注 目する学校にしてもらいたい。 ● 市内には南松尾はつが野学園という小中一貫 校があるが、特認校として小中一貫校を設置 するのであれば、しっかりとその魅力、特色を アピールできる学校にしてもらいたい。そうす ることで、南部地域に注目が集まり、それが地 域の活性化につながるという将来性が見えるよ うな学校に取り組んでいただきたい。	○ 和泉市の人口は増加を続けているわけではな く、はつが野地区の著しい増加はありますが、 平成 27 年がピークとなっており、全国的な人口 減少は和泉市でも例外ではありません。 ○ 南松尾はつが野学園が開校して感じたこととし て、教育の充実が子育て世代が住まいを選ぶ 際の大きなポイントになっています。槇尾中校 区においても魅力ある教育を行っていきます。 しかしながら、教育だけを充実すれば人口増加 やまちが活性化するのかといえばそうではなく て、様々な要因が絡み合っているので、こうし たことを踏まえて、南部地域の活性化につな がるような施策を展開していきたいと考えていま す。 ○ 特認校となると、市内全域から通学することが 可能となるので、それが一つの魅力となると考 えています。また、少人数をそのまま維持する ことも一つの魅力となります。加えて、学校だけ ではできないような特色ある教育活動を今後実 施していきたいと考えています。 ○ 魅力ある学校となるよう、市内の児童生徒が通 いたいと思える学校づくりを教育委員会としても サポートしていきます。
--	---

<u>教育内容について</u> 【横山校区 40代】 ● 市内の学校にはない取組み(英会話・クラブ活動等)を目玉として、多くの児童・生徒を呼び込む学校にしてほしい。指導面に注目している。 【南横山校区 40代】 ● 1学年の定員は41人までとし、1クラスが20人未満でも2クラスにすることで、少人数と複数クラスを実現してほしい。 【南横山校区 60代】 ● 特認制度を選ばれたのはなぜ?南横山小学校を選んだのか?そのところを教育環境での課題としてしっかりと捉えていただき、進めてほしい。今教育の方向性がやや心配になってきている。人間として成長していく為の生きる力、考える力をしっかりと学んでほしい!!教育の原点を忘れないでほしい。学校に行きたいと子ども達が思える場を作ってほしい。 【南横山校区 60代】 ● 南松尾はつが野学園と異なるのは人数確保のための特認学園です。特色ある教育内容で他の地域から転入する魅力ある教育を PR する必要があります。英語、音楽、科学、ICTなど教職員の力量を発揮できる先生方の採用に力を入れて欲しい。 <u>いじめの懸念</u> 【横山校区 60代】 ● 小中一貫校に限定されるものではないが、事件になってから初めて問題視される「いじめ問題」について具体的な対応策を示して欲しい。教育委員会を始め行政側としては認めたくはないと思うが、「いじめ問題」は実際存在すると思う。先進的な取組みの事例があると思うので、是非導入し子ども達父兄が安心して通える勉強できる環境を作って欲しい。	○ 地域環境も活かし、魅力・特色のある学校像を検討していきます。 ○ 少人数指導は南横山小での特認の魅力のひとつでもありました。一定規模の確保、少人数指導の継続に向けて取り組んでいきます。 ○ 南横山小の教育環境は他校にはないものです。その継承を含め、子ども・保護者が「行きたい」「通わせたい」と思える学校像を検討していきます。 ○ 小中一貫校では小中両方の免許を有した教員の配置が原則となっております。教員の配置にあたっては、いずれの学校においても各教員が専門性や長所を活かせるように留意しています。 ○ 和泉市では、市及びすべての小中学校において、いじめ防止基本方針を策定しており、組織的に未然防止、早期発見、事象発生時の対応ができるよう取り組んでいます。施設一体型小中一貫校の特長を活かし、異学年交流を活発にする等、いじめのない今後も安心安全な学校環境、人間関係づくりを推進していきます。
--	---

【横山校区 60代】 ● 少子化の現状なので、やむを得ない選択なのでしょうね。異年齢で学び合うことには賛成ですが、9年間によっていじめ問題が新たに生じる課題など、しっかりと取り組んでいって欲しい。 <u>小中一貫校の意思決定について</u> 【横山校区 50代】 ● 本日の説明会は、今までの流れの説明が主で、まだどこにどのような学校が出来るのか未定が多く、どうなっていくのかがわかりにくい。市長も考えを話していたが、学校の見直しも大切だと思うが、まずこの地域に小学生・中学生が増える事を考えて欲しい。スーパー、病院の誘致を検討して欲しい。 【南横山校区 40代】 ● 決定方法について、何も決まっていないと聞きました。横山・南横山・特認それぞれに可否のアンケートをしていただきたいです。全体で賛成・反対の数を合算されるのでは、地域としての意見がわかりにくい。例えば、南横山・特認が全員反対しても横山が全員賛成ならば、数の上で敵う訳がなく、公平性に欠けると思いますので。 【南横山校区 40代】 ● 今後の説明会で、市内や他市の小中一貫校の児童、生徒、保護者、先生の生の声(特にデメリットについて)を集めていただきたい。メリットばかりを強調するのではなく、デメリットから今後の課題を洗い出し、より良い学校を目指してほしい。 【南横山校区 40代】 ● 南松尾はつが野学園の保護者との交流会は予定して頂けるのでしょうか。	○ 1年生から9年生までが集う施設一体型小中一貫校のメリットを活かした異学年交流などを通し、児童生徒の自己有用感を高め、思いやりの心を育み、豊かな人間関係の構築を図ります。 ○ 学校は地域コミュニティの核でもあります。施設一体型小中一貫校とすることで、地域で子育てしたいという気運を高め、地域が活性化することにつなげたいと考えます。一定の児童生徒を確保し、地域と共にある学校のあり方を検討していきます。 ○ アンケートの実施は検討していきます。その分析についても、審議会等に地域ごとの状況を報告する予定です。 ○ 今後、南松尾はつが野学園の関係者の方に、学校生活の様子等を紹介していただくことも検討しています。 ○ 今後、南松尾はつが野学園の関係者の方に、学校生活の様子等を紹介していただくことも検討しています。
---	--

<u>設置場所について</u> 【横山校区 60代】 ● やはり現状では、子どもが増える可能性はないと思う。住んでみてどれだけ不便なのか、わかって欲しい。交通の便を考えると、どの場所にするか難しいと思う。 【横山校区 60代】 ● 通学の交通の便を十分考えてほしい。 <u>南横山地域の今後について</u> 【南横山校区 30代】 ● 学校がなくなる南横山地区はさらに過疎化が進むと思う。和泉市はどう考えているのか。 <u>南横山小跡地利用について</u> 【南横山校区 60代】 ● 南横山小学校の跡地利用について、地域住民が活用できる施設にしてほしい。 【南横山校区 60代】 ● 南横山小学校跡地を災害時も利用できるようにしてほしい。 <u>その他</u> 【横山校区 50代】 ● 新しい時代の教育がスタートするのだと感じた。明るい教育で子ども達がどの様に育っていくのか、じっくり考えたい。今後の説明会にも参加し考えていきたい。 【横山校区 70代】 ● 良いと思います。進めてください。 【南横山校区 60代】 ● 小中一貫特認校は素晴らしい取り組みです。楽しみです。これで活性化しなくては。	○ 設置場所は様々な視点で検討してまいります。 ○ 路線バスの活用やスクールバスについても研究しているところです。安全性、利便性など総合的に研究しているところです。 ○ 学校跡地の利活用をしっかりと考え、より良い住環境のあり方について、地域の方の意見も聞かせていただきながら、共に検討をしていきたいと考えています。 ○ 南横山小学校跡地の活用については、地域住民が活用できる方策を含め、さまざまな視点で検討していきたいと考えています。 ○ 南横山小学校跡地については、災害時の拠点としての利用も含め、さまざまな視点で活用方策を検討していきたいと考えています。 ○ 子どもたちにとって、よりよい教育環境を整備していきたいと考えています。将来的に求められる資質能力を確実に備えられるよう、研究していきます。 ○ 地域の方の意見もいただきつつ、検討を進めてまいります。 ○ 地域の方の意見もいただきつつ、検討を進めてまいります。
---	--